

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

愛媛県立小田高等学校

学校番号(29)

評 価 実 施 日		平成31年2月27日(水)		
委 員	氏 名	所 属 等	備 考	
		河本 久美子	学校評議員、地域代表、前内子町主任児童委員	
		池田 慎一	学校評議員、地域代表、前立石自治会長	
		西口 邦彦	学校評議員、地元企業代表	
		本田 修司	学校評議員、地域代表、寺村自治会長	
		大久保 明德	学校評議員、上田渡自治会事務局長	
		山崎 勝弘	小田中学校教頭	
		福岡 旭	保護者代表、PTA会長	
評 価 ・ 提 言 等		提言等に対する改善方策等		
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学校経営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「充実した学校生活を送っているか」の項目で、約80%の生徒が充実感を持っていることは評価できる。 ・外部講師の積極的な招へいなどにより教育活動の充実が図られるとともに、「起業家教育プログラム」等の工夫された魅力的な取組ができています。引き続き、小田高校独自の地域人材の育成を目指した、魅力ある教育活動を推進してもらいたい。 ・地域との連携は十分できていると感じるが、課外活動の場面で、小・中学校等との交流学習などを更に充実させてほしい。 ・いろいろな分野の先輩方や他の地域の方々と交えた話し合いができたら良いと思う。 <p>(2) 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の習慣があまり身に付いていないと答えた生徒が28%いる。解決に向けて、家庭学習時間を確保できない原因について調べることが重要だと思われる。また、時間確保と同時に質の向上を目指す必要がある。 ・家庭学習は本人の意識の問題ではあるが、家庭での生活環境が気になる。家庭での生活についても、正しいリズムの作り方など、具体的な指導をしてほしい。 ・個別指導の充実に関しては十分満足できるレベルにある。先生方の素晴らしい指導のおかげで、生徒たちはレベルアップを図ることができていると思う。 ・保護者の90%以上がよく分かる授業の実践を評価しているのは、素晴らしい。引き続き分かる授業に取り組んでほしい。 ・今の生徒はスマホ等をよく使うが、きちんとした文章を書く機会が少ないように思う。 <p>(3) 生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒は生き生きと活動しており、態度の悪い生徒も見当たらない。身だしなみや基本的な生活習慣がきちんとできているとの話をよく聞く。 ・学校を訪れたときに、やや挨拶の声が小さいと感じることがあった。 ・安全教育もよくなされていると思う。 ・引き続き、生徒の悩みなどの相談を積極的に聞く指導をお願いしたい。 ・生徒数の減少に伴い、清掃の行き届かない問題については、PTAや地域への協力を要請してはどうか。 <p>(4) 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小田高校の良さは、進路保障にある。生徒の目標に応じた進路指導に取り組むとともに、進学率を上げてほしい。 ・生徒の適性を伸ばす指導による進路保障を目指してほしい。 ・進路に関しては、保護者にも丁寧に説明することで、不安が取り除けるのではないかなと思う。 <p>2 その他本校教育全般について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の減少は困った問題である。学校存続にむけた生徒数の確保という重大な課題に向け、対策を講じてほしい。 ・学校は素晴らしい教育活動に取り組んでいる。多くの子どもたちに小田高校の良さを紹介したいと思う。 ・教員が遅くまで残って働いている。教員の働き方も改善されるよう、働き方改革を推進してもらいたい。 		<ul style="list-style-type: none"> ・充実感を得られていない生徒も少なからずいることから、生徒の意欲・関心を高め、一人一人が達成感を感じられるような行事や活動を取り入れることなどにより、自己肯定感を高めることができるよう努めたい。 ・31年度から新しい学校設定科目「ふるさと探訪学」「プロジェクト学習Ⅰ」を開講することとしており、授業のねらいが達成できるよう努めるとともに、更に魅力的な教育課程の編成の研究を行いたい。 ・魅力ある教育活動の推進については、魅力化推進室を中心に、地域、企業、行政、小・中・大学等との連携を深め、更なる充実を目指したい。 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習については、質の向上に関する生徒への意識付けを図るとともに、機会を捉えて家庭への協力を願っていたい。 ・授業評価や家庭学習時間調査の結果をしっかりと分析し、基本的な学習習慣が身に付くよう、適切な課題の設定や授業内容の工夫・充実を図り、継続的に指導していきたい。また、習熟度別授業や少人数指導のメリットを生かして、生徒の能力や進路希望等に応じた個別指導の徹底を図りたい。 ・ICT機器等を有効に活用し、生徒が関心を持って取り組める学習環境整備に努めると同時に、正しく文章を読んだり書いたりできるように、引き続き言語活動の充実にも努めたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・全教職員共通理解の下、社会生活を営むために必要なルール、マナー等を身に付けさせるとともに、生徒の内面的な自覚を促す指導に努めたい。特に、気持ちのよい挨拶ができるよう、指導の徹底を図りたい。 ・生徒一人一人の教育ニーズに応じた教育相談的な指導を充実させ、個別の課題を抱える生徒へのきめ細かな配慮を行いたい。 ・30年度は、自転車・原付バイクによる軽微な事故が発生したことから、安全に利用させるための具体的な指示・指導の徹底を図り、交通事故0件を目指したい。 ・清掃については、清掃分担や効率的な方法を工夫して取り組むこととし、生徒数減少等により限界が生じた場合には、PTAや地域への協力も検討したい。 <ul style="list-style-type: none"> ・就職・進学ともに、達成率100%を継続しているが、第1志望達成率が更に上がるよう努めたい。また、生徒の希望や適性に沿った指導が行えるよう、各種ガイダンスや学年指導などのキャリア教育を更に充実させたい。 ・生徒や保護者が必要とする進路情報を調査し、積極的に提供するなどして、家庭での話し合いが持ちやすいよう努めたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・全国募集を継続して行うとともに、一層の学校魅力発信に努めたい。また、中学校等と連携しながら、中学生やその保護者に対する広報活動を積極的に行い、学校の魅力を伝えていきたい。 ・学校業務の精選や校務分掌の適正配置に努めるとともに、学校開庁日や部活動休養日を設定するなどし、教員の働く環境の改善を図りたい。 		